

藤江小学校 中西SP

6月9日、藤江小学校で活動する中西SPに会いに行きました。昨年度末からウィークリーSPとして活動をスタートした中西SP。数ヶ月ぶりに活動の様子を見させていただきましたが、見違えるほど学校に溶け込んでいました！中西SPは、気になる子たちのところへスッと寄っていきます。でも、すぐには声をかけません。まずは子どもの様子を見て、それから一言か二言声をかけます。そしてまたスッと離れます。素晴らしいバランス感覚だなあと驚いたとともに、子どもの様子を“視る”ことをかなり意識して活動しているのではないかと感じました。ちょうど算数の授業中でしたが、中西SPが声をかけた子は一生懸命考えている様子が見られました。また、先週末でちょうど教育実習を終えたそうで、「最終日は大号泣でした！本当に素晴らしい経験になりました。」と話してくれました。実習先の子どもたちと藤江小の子どもたちの違いも感じる事ができたそうです。熱心でセンス抜群な中西SP。これからもよろしくお願いします。



たくさんのメモ……。その熱意がすごいです。



話は変わりますが、先日、過去のSP登録人数を調べていました。年度によって多い少ないがありますが、過去5年の平均を出すと、なんと！1年で147.4人……。毎年、約150名の学生さんが東浦町にSPとして登録・活動してくれているという驚異の数字が！

＜過去5年のSP登録人数＞

年度	登録SP数
2021年度	169
2022年度	173
2023年度	131
2024年度	123
2025年度	141

東浦町は、知多半島にある人口5万人ほどの“町”です。大学はありません。それでも、これだけの学生さんが毎年東浦町に来てくれています。（20以上の大学から学生さんが来てくれています。）なぜ、これだけ多くの学生さんが東浦町には来られるのか？理由は学生さんによっても違うでしょうし、細かく分けるとたくさんあると思いますが、「活動しやすい」とことと「将来に繋がる経験だと実感できる」からということが大きな要素だと感じています。（実際に、SPのOB／OGからもよくこの2つを聞きます。）東浦SPは、システムが整っていて、活動先（学校）の雰囲気が良い、という魅力があります。加えて、「将来教師を目指す学生さんのためにもなる活動に」とよく考えられた事業です。だからこそ、学校と学生さんのマッチングが上手く機能しているように感じています。みなさんが東浦を活動先として選んでくださった詳しい理由、ぜひ知りたいです！また活動の合間にみなさんの声を聞かせてください。